

令和元年12月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 令和元年12月17日(火) 午前9時30分
役場3階 会議室5
- 2 出席委員 北村教育長 稲佐委員 下田委員 松尾委員 堤委員
- 3 事務局職員 吉岡学校教育課長 川崎生涯学習課長 宮崎主任指導主事
吉村学校教育課長補佐 渡部生涯学習課長補佐
梅木指導主事 川畑庶務係長 丸田学校教育係長
原学校統合再編係長 永尾学校給食係長 大川内主任
- 4 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 5 会議に付した議案
付議第32号 準要保護の認定について
付議第33号 令和2年度入学式の期日の変更について
- 6 動議の提出者 なし
- 7 議事の概要 別紙資料のとおり
- 8 議決事項 付議第32号から付議第33号すべて議決
- 9 その他
 - ・事務局からの報告
 - ・傍聴者 無し

1 開 会 9:25
吉岡学校教育課長

2 前回議事録の承認 9:25
1 1月定例教育委員会の会議録を資料により説明
委員全員承認

吉岡課長：事務局から会議録について御相談。

現在の口述筆記を働き方改革等の観点からも考え、少し簡略化の相談をしたい。平成27年から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正で、教育委員会制度が大きく変わり、教育委員会の透明性を保つため会議録を公開した方が良いという努力目標となり、基本的には口述筆記が望ましいが、要約でも良いという話であった。平成28年度以前は、数ページであったが平成29年度からは口述筆記としたことにより、十数ページとなり負担が大きいため少し検討したいと思う。

(委員全員了承)

3 教育長の報告 9:27

師走も後半になり次の日曜日は冬至です。昨日は、福富小学校でインフルエンザが発生し、2年生と5年生の2クラスで2日間学級閉鎖となりました。

(前回以降の主な動向)

資料より数点を内容紹介。

11/22 災害時支援協定書調印式（グッデイ）

12/16 J P との包括的連携に関する協定書の締結式

白石町と民間との災害時の物資等の供給及び配達業務等を通しての見守り、情報提供（道路破損等、犯罪など）振り込め詐欺防止、認知症サポーター養成講座社員受講などの包括的な連携協定。

11/30 白石町社会福祉大会

映画監督並びに作家の信友直子氏の講演。テーマ「認知症が私たち家族にくれたギフト」

12/ 1 白石町教育の明日を考える集会

240名程の参加。保護者の参加が少なかったため今後同じようなテーマで行う場合は工夫が必要。曾野綾子の言葉の「教育という川の流れとなる最初の水源の清冽な一滴となりえるのは、家庭教育である。・・・」とい

う言葉があるが、そのことについては、かなり認識できたと思う。

12/ 3 スポーツ推進員功労賞受賞報告会

文部科学大臣表彰受賞：福富の塘 憲司氏

全国スポーツ推進委員連合会30年勤続表彰：有明の岡 幹也氏

12/14 佐賀県教育フェスタ（東与賀文化ホール）

須古小学校の猪ノ口さんと眞崎さんが最優秀賞を受賞した「須古寿司名人になりたい」の発表。

(1 2月議会定例会一般質問について)

資料により概要の報告。

1 2月定例会が、1 2月6日金曜日から1 2月13日まで開催された。2日間一般質問があり、10名が質問に立たれ、うち教育委員会関係が6名質問された。そのうち西山議員の東明寺の質問、内野議員の小中学校の統合再編の進め方についての質問、重富議員のGPS機器の導入についての質問について一部説明。

(その他)

・交通事故発生（加害等）状況調べ

1 1月は、小中学校で10件うち杵西・藤津地区は2件。サービスの指導として、学校では、10日とか20日のゼロの付く日設定して指導している。士気の高まるような指導をしていただくよう校長会でも繰り返し指導していきたい。

・公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案の概要

新聞、ニュース等で報道された分の情報提供。1 2月4日の参議院本会議で「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案」が可決成立した。運用については、今後検討がなされると思われるが、中心となるのが5条関係で、「一年単位の変形労働時間制の適用（休日のまとめ取り等）」ということで、繁忙期に大きな時間を割く、その分を夏休み等の休日にまとめ取りをしていただきたいということ。現状では、この運用には非常にハードルが高いため、研修等の見直しをしなければならない。実際の運用については、今後各方面から検討がなされると思う。

4 付議事項の協議 9：48～

北村教育長：本日は付議事項2つを御審議いただきたい。

付議第32号

準要保護の認定について

北村教育長：白石町教育委員会会議規則第15条による秘密会議宣言。

大川内主任：資料に沿って詳細説明。(1件)

厳正なる審査の結果認定。

委員全員承認（付議第32号）

付議第33号

令和2年度入学式の期日の変更について

北村教育長：前回この件については、付議事項として決定した。決まり事を覆すのはおかしいが、その後の校長会で報告した際、この日程では現場としては厳しいという相談があった。今後、こういうことが無いように事前の調整を行わないとならないという反省の上で、再提案をさせていただく。

川畑係長：11月21日の教育委員会で決定をしていただき、その後の28日に校長会で報告したところ、教育長の話のとおり厳しいとの話が合った。そのため、校長会で提案の日程で検討をいただき、9日と10日にしても大丈夫との事であった。そのため、再度教育委員会で審議していただきたい。

(委員から9日、10日での再確認。日程了承。)

北村教育長：参考として近隣市町の日程の紹介。

武雄市、鹿島市、大町町は9日に小中同時に実施。

(委員より保護者及び来賓の小中重複の懸念の声有り)

委員全員承認（付議第33号）

5 その他 10:59～

(1) 学校統合再編について

原 係長：第9回学校統合再編審議会開催についてお知らせ。本日開催し、審議内容は前回教育委員会で報告したとおり、引き続き小学校の再編策です。内容については、学校数、位置について。審議会で意見が出つくされたと判断された場合は、今回で学校数、位置についてまとめられる場合もある。

稲佐委員：先般、配布物で統合再編のことを詳しく書かれていた。あのように出されれば内容が分かると思った。それと同時に校数の案があるが、配布物をするということは、全部にいきわたるため出す必要のない

部分は出さなくてもと思った。

(全委員承諾)

(2) 問題行動月別報告(11月分)について

梅木指導主事：資料により詳細説明。

不登校について、小学校は完全不登校2名、ほぼ完全を含め3名、改善報告が1名、教育支援室「あい」に入室が1名。

中学校は、完全不登校が5名、ほぼ完全を含めると9名、改善報告が3名、1名が今月より教育支援室に正式入室となり9名。

いじめについて、11月については小学校で新規でアンケート等上がった分が9件、全て丁寧に対応していただき、現在大きくなるようなことはないとの事。中学校では新規に2件。うち1件は、以前との絡みで行ったり来たりという少し時間を要する状況。

堤 委員：被害、加害両方とも上がっているということですか。

梅木指導主事：被害でも上がり加害でも上がりという関係性である。

松尾委員：資料の男女多数というのは。

梅木指導主事：名前の言い方で、周りがあだ名っぽく言うため多数となっている。教育相談等も行っている。

松尾委員：解決はしているのか。

梅木指導主事：現在、全体に向けて報告し、解消に向けて取り組んでいる。

稲佐委員：完全不登校が以前よりも目立ってきたようだ。かつては、30日以内、50日以内等あったが、自分の独りよがりの判断かわからないが、スクールカウンセラーの先生が「しっかり休みなさい。」というアドバイスを保護者にされ、それによって保護者は、「行きたくないなら行かなくてよい。」というようにどんどん休ませる。メディアも「そんな学校行かなくていいよ。」という風に言っている。そういうことを聞くと「やらなくていい。」となる。自分はどちらかということ今までサポートしてきた中では、「学校に行きなさい。」という指導を続けてきた。行かないと授業にも集団生活にも参加しないでそのまま大人になっていったらどうなるだろうかと思う。スクールカウンセラーが悪いとは言わないが、ある程度登校刺激を要所、要所では必要ではないかと思う。

下田委員：今日の報告で、「あい」を利用している子どもが増えてきていると感じている。中学校で8名、小学校で1名だが、9名の子どもを見る先生の体制はどんな感じか。

梅木指導主事：基本は、常駐が1名と残り2名を割振りして、1日2名の体制

である。毎日、毎日来るわけではない。報告書を見ると3名から4名で、午前だけとか午後だけとかいう状況である。

下田委員：先日、先生と活動されている様子を見たがすごく笑顔で活動され、良いなと思って見ていた。

北村教育長：下田委員さんの件で、コンフォートスペース「あい」については、木原室長を中心に、学習の心配もあるが、とにかく子ども達に元気を付けてくださいと言っている。せっかく家を出てここまで来たのであるから、それをしっかり認めて色々な活動を工夫していただいている。機材等十分ではないが工夫して活動していただいていると思っている。

堤委員：いじめについて、宮崎県が九州ではトップで佐賀県が最下位くらいの報告数だと思う。2つの小学校の数が多く出ているが、これが大体宮崎県の比率くらいだと思う。千人当たり百くらいの数だと思う。少し学校間でばらつきが出てき始めて、積極的に新しい定義でという学校とそこまで行ってない学校との差が11校で少し出てきた感じがあるため、引き続きその辺りの指導をしていただければと思う。

梅木指導主事：この資料は、校長会でも提示しているため、このような内容でも認知しているという共通理解をして、学校の中での定義等と認知の仕方の方法について検討していただけるよう意識づけを図って行きたいと思う。

(全委員承諾)

(3) 1月行事予定表

川畑係長：資料により説明。

1月4日成人式及び1月8日の立志式については、教育委員出席。

吉岡課長：1月と2月の日程をお諮りしたい。1月の教育委員会の日に町長との総合教育会議を待ちたい。

次回定例教育委員会 令和元年1月27日(月) 13:30

2月の教育委員会は同日に文教厚生常任委員会との意見交換をしたい。2月17日の週で都合が悪い日を教えて欲しい。そこを避けて議会と調整を行いたい。

堤委員：議会との調整で決まった日を知らせて欲しい。

(全委員承諾)

川崎課長：スポーツの町宣言の件で報告。

4月の教育委員会で話をした、スポーツ健康の町宣言の件だが、このことについては、12月定例議会において文教厚生常任委員会の草場委員長を提出者として、議員発議により提案された。全員賛成で決議されたことを報告させていただく。今後については、プロジェクトチームで検討してきたが、宣言(案)を作成する際、4つの宣言目標の一つ一つに応じた取組方針、行動計画も作成している。今後、その行動計画により関係各課と連携協力を取りながら、宣言である「はつらつと元気で、活力のある町を目指す。」ということで、取り組んで行くことになると思う。

5 閉 会 10:15

吉岡課長